



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年11月8日

上場取引所 東・大

上場会社名 ダイダン株式会社

コード番号 1980 URL <http://www.daidan.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 植林 信一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員業務本部長 (氏名) 河久保 弘和 TEL 06-6447-8003

四半期報告書提出予定日 平成24年11月9日 配当支払開始予定日 平成24年12月3日

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 有

(百万円未満切り捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	56,190	7.2	316	△41.4	381	△16.9	△111	—
24年3月期第2四半期	52,429	12.3	539	—	458	—	1	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 △6百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 176百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	△2.49	—
24年3月期第2四半期	0.03	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	93,453	41,830	44.7	934.85
24年3月期	103,345	42,197	40.8	943.57

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 41,729百万円 24年3月期 42,123百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
25年3月期	—	8.00	—	—	—
25年3月期（予想）	—	—	—	11.00	19.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 有

平成25年3月期 期末配当金の内訳 普通配当8円00銭、記念配当3円00銭

配当予想の修正については、本日（平成24年11月8日）公表いたしました「配当予想の修正（創業110周年記念配当）に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	116,000	△5.0	2,500	△7.1	2,500	△8.7	1,200	2.1	26.88

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

(参考) 予想受注工事高「通期」121,000百万円

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。

詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

25年3月期2Q	45,963,803株	24年3月期	45,963,803株
25年3月期2Q	1,326,082株	24年3月期	1,321,248株
25年3月期2Q	44,640,224株	24年3月期2Q	44,681,294株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(参考)個別業績予想

平成25年3月期の個別業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	115,000	△4.5	2,500	△4.9	2,500	△6.0	1,200	5.1	26 .88

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(参考) 予想受注工事高「通期」120,000百万円

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
4. 補足情報	10
部門別受注工事高・完成工事高・繰越工事高（連結）	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、当初、生産活動及び企業収益に緩やかな回復が見られたものの、期末にかけてその回復に減速感が強まりました。さらに欧州債務問題は依然として根強く、株価が低迷するほか、為替相場も再び円高となる等、先行き不透明な状況で推移いたしました。

建設業界におきましても、民間設備投資に緩やかな回復がみられるものの、その回復に力強さはなく、未だ設備過剰感は残存する等、受注環境は厳しい状況が続きました。

このような状況のもと、中期経営計画「新たな時代にチャレンジするダイダシ」に基づき、受注と利益の確保に取り組んでまいりました結果、当第2四半期連結累計期間における業績は次のとおりとなりました。

受注工事高は、厳しい受注環境ながらも、前年同四半期連結累計期間比9,395百万円増の63,399百万円となりました。

完成工事高は、受注工事高の増加等の影響により、前年同四半期連結累計期間比3,761百万円増の56,190百万円となりました。

完成工事総利益は、完成工事高は増加したものの、完成工事総利益率の低下により前年同四半期連結累計期間比135百万円減の5,235百万円となりました。

営業利益は、前年同四半期連結累計期間比222百万円減の316百万円となりました。主な要因は、完成工事総利益の減少及び、販売費及び一般管理費が前年同四半期連結累計期間比87百万円増加（前年同四半期連結累計期間比は、多額な貸倒引当金戻入額の計上という一時的な減少要因が存在）したことによるものです。

経常利益は、為替差損が前年同四半期連結累計期間比132百万円減の60百万円となったものの、営業利益の減少を受け、前年同四半期連結累計期間比77百万円減の381百万円となりました。

四半期純損益は、投資有価証券評価損が前年同四半期連結累計期間比16百万円減の185百万円となったものの、経常利益の減少を受け、法人税、住民税及び事業税、法人税等調整額及び少数株主利益を控除した結果、111百万円の四半期純損失となりました。（前年同四半期連結累計期間は1百万円の四半期純利益）

（2）連結財政状態に関する定性的情報

（資産）

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は73,565百万円となり、前連結会計年度末に比べ10,189百万円減少いたしました。主な要因は、受取手形・完成工事未収入金の減少（10,747百万円）等によるものです。固定資産は19,888百万円となり、前連結会計年度末に比べ297百万円増加いたしました。主な要因は、有形固定資産の増加（157百万円）及び前払年金費用の増加（372百万円）等が、無形固定資産の減少（87百万円）及び投資有価証券の減少（64百万円）等を上回ったことによるものです。

この結果、総資産は93,453百万円となり、前連結会計年度末に比べ9,892百万円減少いたしました。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は47,956百万円となり、前連結会計年度末に比べ9,411百万円減少いたしました。主な原因は、支払手形・工事未払金の減少（8,410百万円）及び短期借入金の減少（667百万円）等によるものです。固定負債は3,666百万円となり、前連結会計年度末に比べ114百万円減少いたしました。主な要因は、長期借入金の減少（224百万円）及び退職給付引当金の減少（41百万円）等が、繰延税金負債の増加（167百万円）を上回ったことによるものです。

この結果、負債合計は51,622百万円となり、前連結会計年度末に比べ9,525百万円減少いたしました。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は41,830百万円となり、前連結会計年度末に比べ366百万円減少いたしました。主な要因は、四半期純損失の計上（111百万円）及び剰余金の配当（357百万円）等がその他有価証券評価差額金の増加（76百万円）等を上回ったことによるものです。

この結果、自己資本比率は44.7%（前連結会計年度末は40.8%）となりました。

キャッシュフローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ332百万円増加し、22,968百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、増加した資金は1,856百万円(前年同四半期連結累計期間は73百万円の資金の減少)となりました。主な要因は、売上債権の減少等の資金の増加要因が、仕入債務の減少等の資金の減少要因を上回ったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、支出した資金は215百万円(前年同四半期連結累計期間は230百万円の資金の支出)となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、減少した資金は1,251百万円(前年同四半期連結累計期間は227百万円の資金の減少)となりました。主な要因は、短期、長期借入金の返済による支出及び配当金の支払い等が、短期、長期借入れによる収入を上回ったことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年10月30日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」より変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(減価償却方法の変更)

当社は法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,663	22,995
受取手形・完成工事未収入金	57,434	46,686
有価証券	99	99
未成工事支出金	466	866
材料貯蔵品	0	0
繰延税金資産	1,228	1,177
その他	1,867	1,743
貸倒引当金	△6	△5
流動資産合計	83,754	73,565
固定資産		
有形固定資産	3,267	3,425
無形固定資産	590	503
投資その他の資産		
投資有価証券	8,118	8,054
前払年金費用	5,929	6,302
その他	2,497	2,410
貸倒引当金	△814	△807
投資その他の資産合計	15,731	15,959
固定資産合計	19,590	19,888
資産合計	103,345	93,453

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金	41,235	32,825
短期借入金	6,233	5,565
未払法人税等	489	108
未成工事受入金	2,404	2,798
賞与引当金	—	1,096
役員賞与引当金	—	42
完成工事補償引当金	168	184
工事損失引当金	1,152	793
その他	5,682	4,541
流動負債合計	57,367	47,956
固定負債		
長期借入金	1,623	1,399
退職給付引当金	1,433	1,391
環境対策引当金	220	220
長期未払金	433	420
海外投資損失引当金	5	2
繰延税金負債	63	231
その他	0	0
固定負債合計	3,780	3,666
負債合計	61,148	51,622
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,479	4,479
資本剰余金	4,809	4,809
利益剰余金	32,889	32,421
自己株式	△647	△649
株主資本合計	41,531	41,061
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	564	640
為替換算調整勘定	27	27
その他の包括利益累計額合計	591	668
少数株主持分	73	101
純資産合計	42,197	41,830
負債純資産合計	103,345	93,453

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
完成工事高	52,429	56,190
完成工事原価	47,058	50,955
完成工事総利益	5,371	5,235
販売費及び一般管理費	4,832	4,919
営業利益	539	316
営業外収益		
受取利息	9	7
受取配当金	93	97
受取保険料	84	93
その他	36	25
営業外収益合計	224	224
営業外費用		
支払利息	79	80
支払保証料	10	8
為替差損	193	60
その他	21	9
営業外費用合計	304	158
経常利益	458	381
特別利益		
固定資産売却益	27	—
移転補償金	24	—
特別利益合計	51	—
特別損失		
固定資産除却損	1	37
投資有価証券評価損	202	185
ゴルフ会員権評価損	—	2
特別損失合計	203	226
税金等調整前四半期純利益	306	155
法人税、住民税及び事業税	110	65
法人税等調整額	190	173
法人税等合計	300	239
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	6	△84
少数株主利益	4	27
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1	△111

（四半期連結包括利益計算書）
（第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成24年4月1日 至平成24年9月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失（△）	6	△84
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	178	76
為替換算調整勘定	△8	0
その他の包括利益合計	170	77
四半期包括利益	176	△6
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	174	△34
少数株主に係る四半期包括利益	2	27

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	306	155
減価償却費	217	199
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△257	△10
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△58	△41
受取利息及び受取配当金	△102	△105
支払利息	79	80
投資有価証券評価損益（△は益）	202	185
固定資産売却損益（△は益）	△27	—
移転補償金	△24	—
固定資産除却損	1	37
ゴルフ会員権評価損	—	2
売上債権の増減額（△は増加）	3,757	10,746
未成工事支出金の増減額（△は増加）	△479	△400
その他の流動資産の増減額（△は増加）	323	180
その他の固定資産の増減額（△は増加）	△315	△372
仕入債務の増減額（△は減少）	△5,991	△8,410
未成工事受入金の増減額（△は減少）	1,025	393
その他の流動負債の増減額（△は減少）	712	△356
その他の固定負債の増減額（△は減少）	△7	△12
小計	△638	2,272
利息及び配当金の受取額	102	105
利息の支払額	△81	△78
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	543	△442
営業活動によるキャッシュ・フロー	△73	1,856
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△49	△49
有価証券の売却及び償還による収入	49	49
有形固定資産の取得による支出	△73	△276
有形固定資産の売却による収入	87	—
投資有価証券の取得による支出	△232	△2
貸付金の回収による収入	2	2
その他の固定資産の取得による支出	△45	△49
その他の固定資産の売却による収入	30	110
投資活動によるキャッシュ・フロー	△230	△215

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	15,820	14,880
短期借入金の返済による支出	△15,920	△15,480
長期借入れによる収入	1,300	800
長期借入金の返済による支出	△1,067	△1,092
自己株式の取得による支出	△2	△2
配当金の支払額	△357	△357
財務活動によるキャッシュ・フロー	△227	△1,251
現金及び現金同等物に係る換算差額	△225	△57
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△756	332
現金及び現金同等物の期首残高	23,911	22,635
現金及び現金同等物の四半期末残高	23,154	22,968

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

部門別受注工事高・完成工事高・繰越工事高（連結）

（単位：百万円）

		前第2四半期連結累計期間		当第2四半期連結累計期間		前連結会計年度	
		(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)		(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)		(自平成23年4月1日 至平成24年3月31日)	
		金額	構成比%	金額	構成比%	金額	%
受注 工事 高	電気工事	11,936	22.1	11,414	18.0	23,195	19.5
	空調工事	30,687	56.8	38,259	60.4	68,541	57.4
	水道衛生工事	11,381	21.1	13,725	21.6	27,496	23.1
	合計	54,004	100.0	63,399	100.0	119,233	100.0
	(リニューアル工事) (海外工事)	33,459 5,412	62.0 10.0	29,702 3,430	46.9 5.4	66,916 10,407	56.1 8.7
完成 工事 高	電気工事	9,105	17.4	12,361	22.0	21,729	17.8
	空調工事	32,580	62.1	32,354	57.6	75,858	62.1
	水道衛生工事	10,743	20.5	11,474	20.4	24,521	20.1
	合計	52,429	100.0	56,190	100.0	122,109	100.0
	(リニューアル工事) (海外工事)	24,963 2,913	47.6 5.6	30,061 4,408	53.5 7.9	62,894 7,169	51.5 5.9
繰越 工事 高	電気工事	12,933	15.0	10,621	12.0	11,567	14.2
	空調工事	53,165	61.7	53,647	60.3	47,742	58.4
	水道衛生工事	20,058	23.3	24,646	27.7	22,396	27.4
	合計	86,157	100.0	88,915	100.0	81,706	100.0
	(リニューアル工事) (海外工事)	29,671 3,918	34.4 4.6	24,836 3,679	27.9 4.1	25,196 4,657	30.8 5.7